

# 食料安全保障

## 食料安全保障の現状

### ■ 食料価格の高騰

2008年に史上最高値を更新した穀物等の国際価格は、金融危機により一時下落したものの、3月以降再び上昇。将来的に、再び価格が高騰し、食料危機が再発する可能性も。

### ■ 飢餓・栄養不足人口の増大

食料価格高騰に伴い、多くの途上国で飢餓や栄養不足の脅威が増大し、社会不安が拡大。2009年の栄養不足人口は10億2000万人と予測。ミレニアム開発目標が掲げる2015年までの飢餓人口半減の経路から遠ざかりつつある。

## 我が国の取組

### 1. 北海道洞爺湖サミットをはじめ首脳外交により国際社会の議論を主導

#### ■ FAO主催「世界の食料安全保障に関するハイレベル会合」(2008年6月、ローマ)

福田総理(当時)が出席し、食料価格高騰問題に関する今後の議論を主導し、あらゆる措置をとる決意を表明。

#### ■ 北海道洞爺湖サミット(同年7月)

食料価格高騰問題に対し、G8としてあらゆる可能な対策をとる決意を確認。食料危機の再発を防ぐため、全ての関係者が関与する、「農業と食料に関するグローバル・パートナーシップ」の構築にコミット。

#### ■ 食料危機・気候変動に関する国連事務総長主催夕食会(同年9月、ニューヨーク)

麻生総理が出席し、農業技術協力の重要性を強調しつつ、食料問題に対する我が国のコミットメントを再確認。

### 2. 食料・農業関連支援

2008年1月以降、約21億ドルの食料・農業関連支援を表明。

### 3. 農業・食料安全保障に関するグローバル・パートナーシップ(GPAFS)

昨年11月に東京でG8「世界の食料安全保障」専門家グループ会合を主催し、GPAFSに関するG8案をとりまとめ、国連に提示。

1月末のスペイン政府・国連主催ハイレベル会合において、GPAFSの正式な立ち上げに向け、協議プロセスの開始を決定。

### 4. 食料安全保障のための海外投資促進支援(海外農業投資促進会議の設置)

世界全体の食料増産及び我が国への食料安定供給を見据え、海外農業投資を促進するための方策につき、施策をとりまとめるべく、海外農業投資促進会議を立ち上げ。本年夏を目途に戦略をとりまとめる予定。

我が国はラクイラ・サミットにおいて、外資による途上国の農地取得の急増(世界「農地争奪」)の問題に関し、関係者が従うべき行動原則の策定を含む、責任ある国際的農業投資の促進のためのイニシアティブを立ち上げることを提案。